

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センターいなか かせだ		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 15日		～ 令和8年 1月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 15日		～ 令和7年 1月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月26 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数でのクラス設定 個々に合わせた職員配置	小集団活動、個別活動を組み合わせ、こどもたちの挑戦する気持ちや期待感を持って取り組めるプログラムを計画している	活動が固定化しないための工夫、子どもたちの達成感をさらに引き出す工夫をするために、職員のチーム力を高める。 職員の客観視する力を高める。
2	専門スタッフ (PT、OT、ST) との連携	専門スタッフと情報の共有を行い、活動の内容やアプローチの仕方、プログラムの内容など検討を行っている。	よりよい支援の提供を行うために、勉強会を行い、職員のスキルアップにつなげる
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラムの充実	ペアレントトレーニングについて、職員の十分な知識不足	ペアレントトレーニングについての研修への参加を検討し、職員の支援の質の向上につなげる
2	保護者同士の交流の機会	日頃から就労されている保護者様が多く、平日に時間を取るのが難しい。	振替休日等を利用し、保護者同士が集まれる機会をつくっていく。 親子で参加できる活動の計画 (長期休暇時など)
3			